



● 2015年 第51回大会のお知らせ

2015年度 第51回大会を11月7日(土)、8日(日)の両日に渡り、西南学院大学(福岡)において開催します。今年はいエイツ生誕150周年を迎え、より充実した大会の実現を目指し準備を進めております。

11月7日(土)、榎木伸明氏が小説(未訳)を題材に未だ知られざる初期のイエイツについて「「ジョン・シャーマン」とイエイツの内なるスライゴー」と題し講演を行います。

同日のシンポジウム「イエイツと1930年代—オーデン・グループを参照枠として」では、司会・構成を浅井雅志氏が担当、発題者に山崎弘行氏、辻昌宏氏を迎え、イエイツと同時代である「オーデン・グループ」から見たイエイツ像を検討します。1930年代の沸騰する文学思潮の中で浮かぶイエイツ像がどのようなものをあらためて捉えなおす斬新な企画です。

2日目の11月8日(日)のワークショップでは、松田誠思氏の司会・構成で「イエイツのナショナルリズムを問い直す」と題し、賛否両論のあるイエイツのナショナルリズムについて客観的に再検討し、この問題に関するイエイツ評価を再考する内容です。諏訪友亮氏、木原謙一氏が発題者となり、フロアとの活発な意見交換の場にしたいという意欲的なワークショップです。

大会両日の研究発表は、荒木映子氏「第一次世界大戦とアイルランド—イエイツの戦争詩再考」、坂内太氏「変容のヴィジョン—イエイツ、シング、ジョイス」、西谷茉莉子氏「イエイツと聴衆: “Three Songs to the Same Tune”の改作についての考察」、伊東裕起氏「A Visionにおける「エロイ・エロイ・レマ・サバクタニ」、木原誠氏「「イニシフリー湖島」に描かれたく透かし絵—イエイツと聖パトリックの煉獄の穴」を予定しています。斬新な視点から研究発表が期待されます。

イエイツ生誕150周年を迎え、初期から晩年にいたる作品を多角的な視点から検討する機会となる大会です。皆様のご参加をお待ちしております。詳細につ

きましては、同封のプログラムと要旨集をご覧ください。(別紙の宿泊予約に関するお知らせをご参照ください。)

● 2015年 International Yeats Society 主催 国際大会開催のお知らせ

2015年10月15日(木)から18日(日)まで、イエイツ生誕150周年を記念しアイルランドのリメリック大学で国際大会が開催されます。日本からは、奥田良二会長、佐藤容子氏、真鍋晶子氏が「イエイツと日本」(Yeats and Japan)という演題で16日のシンポジウムに参加します。各氏のご活躍をお祈りします。詳細は以下のURLをご覧ください。

<http://www.internationalyeatssociety.org/>

● イベント等のお知らせ

1. 駐日アイルランド大使館からのお知らせ

<イエイツ生誕150周年記念レクチャー@早稲田大学>

アイルランドの国民的詩人 W.B.イエイツの生誕150周年にあたる今年、早稲田大学 ICC にてアイルランド大使によるスピーチ、アイルランドの文化や文学の紹介、アイルランド音楽の生演奏と軽食を楽しめるイブニングイベントが開催されます。※アイルランド大使館では、当日の座席を40名様まで先行登録を承ります。ご希望の方は、件名に Yeats2015、本文にお名前を入力の上、tokyoembassy@dfa.ie にメールをお送りください。当日のお席を確保させていただきます。

日時 2015年10月9日(金)18:15~20:00

※開場 18:00、部分参加 OK

会場 大隈ガーデンハウス(25号館)1階

参加費 無料

[講演者 パトリック・クロッティ氏について]

スコットランド、アバディーン大学教授。専攻はアイルランドおよびスコットランドの文学。アイルランド、スコットランドの現代詩や、ケルト文学-英文学間の相関を研究する。また、アイルランド、ダブリンシティ大学セント・パトリック・カレッジ英語学科主任、イエイツ国際サマースクールにてディレクター等を歴任。

2. 狂言『猫と月』の公演

佐野哲郎氏の翻訳による狂言が実現するというお知らせを真鍋晶子氏からいただきました。大蔵流狂言師松本薫氏による本邦発の公演になります。他に上演される1曲『濯ぎ川』はフランスのファルスに基づいたものです。お問い合わせ：〒650-8586（この郵便番号を使うと住所は省略可）神戸学院大学グリーンフェスティバル係 電話 078-974-6105（担当部署：社会連携グループ）

会場：神戸学院大学 グリーンフェスティバル

日程：2015年 11月10日(火) 17:15-開演

『猫と月』 イェイツ作 佐野哲郎訳 松本薫演出

聖者：茂山千三郎

乞食甲：茂山正邦

乞食乙：茂山茂

（後見：松本薫）

（詳細につきましては、神戸学院大学HPをご覧ください。）

3. 【2015年ウィリアム・バトラー・イェイツ生誕150年記念】

現代能『イェイツと不死の泉——運命の女 モード・ゴン』

作・演出 笠井賢一(演出家・能楽プロデューサー)

二人の生涯にわたる愛の迷宮を夢幻能のスタイルで描く。
シアターX (カイ) 10月16日(金) 19:00 17日(土) 14:00

（詳細につきましてはHP(www.theaterx.jp)をご覧ください。）

● W. B. イェイツ生誕150年記念 Yeats Day in Japan

(駐日アイルランド大使館、シアターX主催、日本アイルランド協会協賛)

2015年6月12日(金)から14日(日)まで東京・両国のシアターX(カイ)においてYeats Day in Japanが開催されました。初日には、アイルランド大使アン・バリントン氏の挨拶の後、笠井賢一氏(能楽プロデューサー、演出家)の講話、イェイツの作品を歌とダンスで表現する劇団グアナ・ビネ・シアリの公演、カハル・クイン氏、エンダ・ライリー氏らによるイェイツの作品朗読、ポール・ヘイズ氏作曲『The Song of Wandering Aengus』の世界初演奏があり、2日目には「イェイツと能」と題し観世鍬之丞氏と笠井賢一氏の講演ならびに観世氏の謡が披露されました。最終日には、松田誠思氏訳による『デアドラの物語』を劇団Irishbull Art Theatreが日本を舞台に現代的脚色で公演、シンポジウム「日本とイェイツ」(司会：海老澤邦江、発題者：松村賢一、佐藤容子、笠井賢一)で締めくくられました。3日間を通じ会場は日本イェイツ協会の会員を含め多くの来場者でにぎわい、盛況のう

ちに終了しました。

●寄贈図書

Irish Theatre and Its Soundscapes, eds: Hiroko Mikami and Naoko Yagi, (Glasnevin Publishing, 2015)

『モード・ゴン—1866-1953 アイルランドのジャンヌ・ダルク』(杉山寿美子著 国書刊行会、2015年2月、3800円+税)

『赤毛のハンラハンと葦間の風』(棚木伸明編訳 平凡社、2015年3月、2500円+税)

『キーツの想像力—妖精・牧歌』(高橋雄四郎編訳 音羽書房鶴見書店、2015年6月、2500円+税)

『ディラン・トマス』(木村正俊・太田直也編 彩流社 2015年7月 4200円+税)

『煉獄のアイルランド—免疫の詩学/記憶と徴候の地点』(木原誠著 彩流社、2015年8月、6200円+税)

ご寄贈くださりまことにありがとうございます。著者の方々には心より御礼申し上げます。

●会費納入のお願いと口座について

前回の「ユニコーン」で現在のゆうちょ銀行の口座を9月末日で終了する旨をお知らせいたしましたが、お知らせの周知徹底が十分でなく、会員の皆様の混乱をさけるために、2016年3月末日まで現在の口座を使用することになりました。会費未納の方は、納入する会費年度を明記の上、以下の口座にお振込みくださいようお願い申し上げます。(2012年以降会費納入が確認されない場合、協会からの発送物をお届けできない可能性がありますのでご注意ください。)

会費 5,000円 学生会員 2,000円

<ゆうちょ銀行>

口座記号 00120-9

口座番号 179621

加入者名 日本イェイツ協会

*****The Yeats Society of Japan*****



日本イェイツ協会事務局

〒270-0198 千葉県流山市駒木474 江戸川大学

メディアコミュニケーション学部 情報文化学科

海老澤研究室内 Tel:04-7152-9923 Fax:04-7153-5904

Email: mkunie@edogawa-u.ac.jp

URL: the-yeats-society-japan.jp